

羽村市議会議員

鈴木たくや 議会/活動報告

No. 16

2011. 10. 30

日本共産党

すずたく通信

事務所 富士見平1-4-1松沢コーポ101 電話080-1058-9450

パソコンで好評!活動日記 <http://suztaku.blog.ocn.ne.jp> メール suztaku@ab.cyberhome.ne.jp



放射線測定 子ども目線できめこまかく!

市民のみなさん、こんにちは。共産党の鈴木たくやです。「身近な場所の放射線量はどうなっているの?」という市民からの声にこたえて、7月から、独自の放射線量測定をおこなってきました。

全体的には低い値でしたが、砂場で周辺よりも若干高い値が出た場所があり、砂の入れ換えや、きめこまかい測定を市に求めました。

そうした結果、9月議会では、羽村市も公園・学校などの砂場、排水溝の測定をおこなうことを表明しました。また、学校給食では、まず出来ることとして、食材の原産地公表がはじまりました。

放射線の問題では、何よりも、「子ども目線」が大事です。少しでも放射能の影響を軽減するために、そして、何よりも、将来的に原発がない社会を子ども達に手渡せるように、力をつくしていきます。



いっしょに配布しました
「市民アンケート」。ぜひご
協力ください。切手なしで
ポストへ投函できます。

★昨年の市民アンケートでは、「道路のデコボコ」「介護保険の減免制度を」などさまざまなご要望をいただきました。市への申し入れ、議会質問などに活用させていただきました。



市民アンケートにもとづく市への申し入れ(2010年11月)

9月議会 一般質問 論戦ハイライト



○放射線測定、学校給食、復興ボランティアを！

Q 鈴木 今後は、公園の砂場、側溝、排水溝など、よりきめ細かい測定をおこなう必要があると考えるが、どうか？

A 市長 9月にも学校、保育園等の測定を予定しているので、その中で、砂場、排水溝なども測定する。

鈴木コメント 市内の公園、学校、保育園などの測定では、放射線量は、幸いながら低い値であることが分かった。心配なのは、局所的に線量が高い所がないかどうかだ。さらにきめ細かい測定が必要だろうと提案したが、市もその方向で測定を行うことになった。ほかにも、学校給食の安全対策、復興ボランティアの取組みを問うた。いずれもできるところから始める姿勢で評価できる。

○羽村駅西口区画整理事業の見直しを！

Q 鈴木 市民から寄せられた意見の中で、最も多かった「事業反対」の代表的な意見は、どのようなものか？

A 市長 「広い道路はいらない」「駅前のみを整備でよい」「現状を生かしたまちづくりを希望」などだ。

鈴木コメント 第2次設計案に対して住民から出された意見書の内容を中心に問うた。わかったことは、多くの意見は、設計図づくりに反映されない、ということだ。住民の4分の1以上の合意なしに、街づくりが進んでいくことになる…。いつになっても街はできず、際限なく税金投入が続く、という最悪の道をすすんでいるように思う。立ち止まって大元から見直すことが今こそ必要だ。

○横田基地はどうなっている？

Q 鈴木 横田基地への自衛隊の建物・人員などの移転状況はどうか？

A 市長 庁舎は工事が完了した。現在70人が移転し、来年3月までに約800人が移転する計画と聞いている。

鈴木コメント 横田基地を舞台に、ますます、日米軍事一体化がすすむことになる。横田基地の新しい役割は、「ミサイル防衛」だ。飛んでくるミサイルをミサイルで打ち落とすための情報センターの中心になるという。きわめて危険な役割を担うことになる。市民の安全のために、市も掲げている「横田基地の縮小・撤去」にむけて、本気で発言・行動していくことが必要になっていると思う。

現道を生かして
市民の声聞いて

とても参考になる 東松山市の街づくり



10月17日、市議会経済委員会で、埼玉県東松山市へ視察に行ってきました。この市でも羽村市と同じように区画整理による街づくりをおこなっていますが、ずい分、その進め方には違いがありました。

まず、最初に説明を受けた「和泉地区」では、平成5年から区画整理による街づくりを始めましたが、反対運動がずっと続いてきました。そのため、市民と共同で新しい街づくりのあり方を検討し、区画整理をやめ、現在の道を生かした街づくりをすることになりました。

次に説明を受けた「高坂駅東口第一地区」では、区画整理による街づくりが進行中ですが、最初の「基盤の目」の設計図を見直し、できるだけ現在の道を生かした設計図に変更しました。いずれも、税金投入は大きく減る見通しです。



高坂駅東口第一地区

「昔のように、何が何でも基盤の目にしなくてはならない、という時代ではありません」と担当職員。羽村駅西口の街づくりに生かしていきたいと思います。

提案
しました

西口区画整理事業の余った予算・**1000万円**→福祉や教育にも使えるように

9月議会で提案された補正予算への反対討論で、平成22年度に余った約1000万円の西口区画整理事業の予算を、福祉や教育にまわそうと提案しました。

市の案は、「西口開発にしか使えない口座」に貯金しようというもので、一般的には、こうしたやり方がこれまでおこなわれ、10億円以上が積み立てられています。

提案は実りませんでした。従来、の枠にとらわれずに、新しい提案をどんどんしていきたいと思っています。



8月25日 「羽村市
農業委員会」との懇談
会。農産物直売所をう

まく活用し、新しい作物づくりにも挑戦して
いる羽村の農家の頑張りがよく分かった。同
時に、TPPで農家が潰されてしまう、など
の厳しい将来展望についても率直な意見を聞
けた。

9月19日 明日から始まる決算委員会にむ
けて猛勉強。いつも「余裕をもって準備を」
と考えるのだが、きまって余裕なくギリギリ
までやっている。市役所連絡所が午後1時ま
でに短縮、いこいの里などでの入浴サービ
スが日数減など、市民サービス削減が始まる一
方で、西口区画整理には5億円も使う税金の
使い方が、やはり問題だと痛感する。

123 数字で見る は・む・ら

25本

9月21日に羽村市も直撃した台風15号。市内
では、公園などの木が25本もなぎ倒され、羽村
堰近くでは、車の上に木が倒れ、乗っていた人が
怪我をしました。市内に30年以上
住んでいる市民からも「あんな
台風ははじめて。」との声。「公園
の危ない木を切って」との要望が
共産党にも寄せられ、さっそく市
に対応を依頼しました。








根元が腐り、危険な樹木

まちかど

インタビュー 10月12日
いながや前
ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。

政府の増税政策、 どう見る？

-  ・増税の話、知っています。上げて欲しく
ない。困りますね。(中学生)
-  ・仕方ないかな。ただし、必要なことに使
ってくれれば、という事ですけど。(主婦)
-  ・嫌ですね。夫の給料が下がって、家計は
相当厳しいです。(女性)
-  ・増税はしない方がいい。景気を悪くする
ことが明白だから。被災地支援は、電気代値
上げで賄ったらどうか。(男性)
-  <鈴木たくや>震災復興のため「負担を分
かち合う」と政府は言っているが、実は庶民
は10年間で9兆円負担増、企業は11兆円
以上の減税になる。これは不公平。大企業へ
の減税、株取引への減税を中止すれば、「庶
民増税」なしでも復興予算は生み出せるはず。

日本共産党発行の

しんぶん 赤旗

くらしの視点で、政治のこと・
社会のことわかりやすく

●日曜版 月800円
○日刊紙 月3400円

無料の見本をお届けします
(電話080-1058-9450まで)